

(リスクアセスメント) バック誘導 作業手順書

会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	令和7年5月29日	全車両共通		ヘルメット、手袋、安全靴、警笛 からまんで-W(黄旗)、しらすんだ-受信機 レッドホーンW(赤色棒)	
改訂日					
作成者	岡本				
必要資格等	運転免許(各種)			作業人員	1+1名以上
備考					その他

作業工程	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	危険要因			危険有害要因低減対策	誰が		対策後			【留意参考事項】
				可能性	重大性	評価		点検・確認	可能性	重大性	評価		
打合せ		事前打ち合わせ											
	1	どこまで下がるかの確認	目標位置がわからず、間違った場所に誘導する	2	2	4	目標位置の確認をする	運転手、誘導員	1	1	1	・運転手は誘導を受ける場合は窓を開ける ・合図は互いに 思い込み がないように打合せを行う事 声による誘導例 ①運転手の見える位置で手を上げ合図を送る ②オーライの掛け声をだして、誘導を行う ③停止予定位置にて手と声で知らせ停める	
	2	どの位置で誘導するか確認											
	3	合図方法の確認	停止の合図が分からず、車両が器材等に接触する	2	2	4	お互いに開始・後退・停止などの合図を確認する	運転手、誘導員	1	1	1		
	4	移動動線の確認	誘導中に保安員が物に躓き、転倒する	2	2	4	支障となる物を移動させるか、支障物がないルートで誘導	運転手、誘導員	1	1	1		
誘導員移動		誘導位置まで移動											
	1	誘導員は運転手から見える位置で誘導をする	誘導員が運転手の死角に入り、運転手が誘導員を見失う	2	2	4	誘導合図者を確認できない時は停車し再度打合せを行う	運転手、誘導員	1	1	1	④停止予定位置にて手と声で知らせ停める 笛による誘導例 ①運転手に単音(ピッ)と送る ②単音長音(ピピーッ)を繰り返し鳴らし誘導する ③単音を3回吹き(ピッピッピッ)長音1回吹き単音1回で停める(ピーピッ)	
			誘導員の移動を待たずに後退し始め、誘導員と接触する	2	3	6	誘導開始の合図があるまで車両を動かさない	運転手	1	1	1		
後退誘導		誘導開始											
	1	運転手に対し、誘導開始の合図をする	車両の後ろに人がいることに気づかず後退し、人、モノに接触	2	3	6	周囲に支障となる物や人がないことを確認して合図を送る	誘導員	1	1	1		
		誘導中											
	1	誘導員は車両の後退誘導を行う	誘導員を見失ったまま後退し、誘導員と接触する	2	3	6	誘導員を見失ったり、合図が聞こえない場合は停止する	運転手	1	2	2	・笛や声だけの合図ではなく黄旗や赤色棒も併用して行うと良い 【セーフティーバイブル】 ・全体編【WH-12】後退誘導員の配置	
			打合せと違う合図で、運転手が混乱する	2	2	4	打合せで確認した合図を使い誘導を行う	誘導員	1	1	1		
			車両のスピードが速く、誘導員と接触する	2	3	6	スピードが速ければ、一度車両を止め、お互いに話し合う	運転手、誘導員	1	2	2		
		誘導終了											
	1	車両が目標の位置まで来たら停止の合図をする	車両が止まりきらず、目標位置の直近にある器材等に接触	2	2	4	余裕をもって停止の合図を出す	誘導員	1	2	2		
			停止後、位置が違ったため、すぐに動き出し、誘導員と接触	2	2	4	再度、誘導員と話してから動く	運転手	1	2	2		